



子育て中の方に ぜひ読んでもらいたい オススメの本!

新しいステージや次のステップに進む4月。環境の変化や人間関係の変化など、子どもも大人も様々な変化があり、色々悩めますよね。その悩みの答えは、本の中にあるかもしれません。ぜひ、じっくりと読んでみてください。

保護者の方へ



『空気を读みすぎる子どもたち』
古荘純一／監修
(講談社)

自分の好きなことや言いたいことを抑えて、場の空気を大切に子どもたち。辛い気持ちのSOSサインをキャッチして、自己肯定感を育みましょう!



『尾木ママ小学一年生』
尾木直樹／著
(小学館)

小学1年生のお母さん達に共通する独特な悩みがあります。そんな悩みを、一問一答でやさしい語り口で答えます。雑誌『小学一年生』に掲載されたものを再構成。



『子どもから話したくなる「かぞくかいぎ」の秘密』
玉居子泰子／著
(白夜書房)

ふだん、家族の本音を聞くことはなかなかできないものです。家族会議を開くと、家族の気持ちがわかったり、日常の会話が増えたりします。「家族会議」開いてみませんか?



『思春期の子どもがわかる25のQ&A』
名執雅子・西岡潔子／編著
(シアース教育新社)

「急に成績が落ちた」「付き合う友達が変わった」など、子どもの小さな変化からSOSを察知し、冷静かつ適切な方法で解決に導くために保護者がすべきことをQ&A形式でわかりやすく紹介。



『中学校に行くのが楽しくなる本』
熊谷雅之／著
(みらいパブリッシング)

中学校に上がり、生活リズムや人間関係が大きく変化したことで、子どもたちは沢山の悩みを抱えてしまいがち。そんな悩みの解決方法を現役教師がアドバイス。保護者にもぜひ読んで欲しい一冊。



『だじょうぶ、絵本があります』
安藤宣子／著 (海鳥社)

看護専門学校司書の経歴を持つ著者が、子育てに寄り添いながら様々なテーマ別おすすめ絵本を紹介。コラムや最終章「選び方・読み方アドバイス」には、発達段階に応じたヒントが満載です。



『1ねん1くみの1にち』
川島敏生／著 (アリス館)

小学校1年生のクラスの1日をのぞいてみましょう。学校ってどんなところ? 1年生って学校で何するのかな? もう入学している子は、自分の学校と違っているところを探すのも、楽しいですよ。



『オレ、カエルやめるや』
ペティ、デヴ／文
(マイクロマガジン社)

「オレ、ネコになることにするや。」子どもから言われたお父さんガエル。子どもの気持ちを優しく受け止めながら、どうしてカエルが嫌なのかを尋ねていきます。親子で読み合うと、楽しいコミュニケーションが広がります。

読み聞かせ等に関するご相談は、ぜひ、下記の図書館までどうぞ!

- 中央図書館 ☎636-0231
- 東図書館 ☎638-5614
- 南図書館 ☎653-7609
- 上河内図書館 ☎674-1123
- 河内図書館 ☎673-6782
- ※表紙画像の無断コピー禁止

